

彩の国 ロードサポート NEWS



埼玉県のマスコット
コバトン

彩の国ロードサポートについての情報は、埼玉県ホームページをご覧ください。

埼玉県

県道路環境課ホームページ <http://www.pref.saitama.lg.jp/site/sapport/>

編集・発行：埼玉県県土整備部道路環境課 〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3丁目15番1号
TEL 048-830-5103 (直通) FAX 048-830-1942

ロードサポートの認定状況

平成22年4月1日現在で

497団体
約21,100人

～ 目 次 ～

- 1 「花苗の育成講座」を開催しました P 1
- 2 「第7回道路愛護の集い」を開催しました P 2
- 3 彩の国ロードサポート団体の活動報告 P 2
- 4 アダプト・プログラム参加市民団体のアンケート調査 P 4
- 5 活動団体・花苗の支援者を募集中！ P 4

1 「花苗の育成講座」を開催しました

平成22年1月16日(土)に「埼玉県花と緑の振興センター」の瀧口担当部長を講師に迎え、「花苗の育成講座」を開催しました。3回目となる今回は、埼玉県熊谷県土整備事務所で行いました。

当日は10団体、37名の方々にご参加いただきました。参加された皆様は、講師の説明に大変熱心に耳を傾けておりました。

講義は、お花の上手な育て方・ふやし方や気をつけたいお花の病害虫をテーマとし、スライド映像を交えながら行われました。

内容は、まず園芸の基礎である土づくりに触れた後、花壇によく使われる一年草の苗作りのポイントや、種の履歴書や採取上の注意事項などのお話があり



ました。講師が時折ユーモアを交えながら説明することで、和やかな雰囲気ですんでいきました。

次に、お花の病気や悪影響を及ぼす害虫の紹介やその対処方法、さらに農薬使用時の注意点などについてお話がありました。

また、参加者からは実際に自分たちで育てている花のふやし方などについて、実践的な質問が多く出されました。花を愛する気持ちや花に対する関心の深さが伺えました。

この講座がきっかけとなり、皆様方に自宅で種から花苗まで育てていただき、今まで以上に多くの花で道路を飾っていただければ幸いです。



2 「第7回道路愛護の集い」を開催しました

2月20日(土)にさいたま市の浦和ロイヤルパインズホテルで、「第7回道路愛護の集い」が開催されました。道路愛護の普及・啓発を図るためのイベントとして、平成15年度から毎年行っています。当日は約170名の方に参加をいただきました。

内容は、「道路愛護ポスターコンクール」優秀作品の受賞者8名の表彰を行うとともに、「彩の国ロードサポート団体」や「埼玉県ロードレポーター」、「道路パートナー」の活動報告、フリーアナウンサーの大野勢太郎氏による講演「ローマへの道は一日にして成らず」も行われました。

また、埼玉県のサイクリングロードなどに関する各種パネルの展示や、道路の刈草や剪定枝を有効活用して生産したリサイクル堆肥の無料配布なども行われました。

ロードサポート団体として日ごろ清掃美化活動を行っていただいている皆様方にも、今後の活動の参考にしていただければと考え、当日発表いただいた2団体の活動内容を御紹介します。

3 彩の国ロードサポート団体の活動報告

家庭倫理の会 秩父支部

(平成15年12月認定・秩父市)

活動路線：一般国道140号
発表者：加藤辰子

「社団法人倫理研究所・家庭倫理の会」は、自分・家庭・地域・日本・地球を「よくする活動」を推進しています。地域をよくする活動として、毎月第2日曜日を「全国一斉清掃日」とし、長年にわたり全国各地で公共の場所や駅前などの清掃活動を行っております。

私たちの清掃場所は、「国道140号沿い『道の駅ちちぶ』入口信号から上野町信号手前までの200mの区間です。月2回ゴミ拾いと植え込み内の除草作業を行っています。



私たちは地域に貢献していく団体を目指そうと考え、毎月の清掃活動をロードサポートに切り替えることにし、平成15年12月25日に秩父県土整備事務所で認定書を拝受しました。暮れの忙しい中でしたが、12月28日に第1回目の清掃活動を行いました。

2月13日には上野町信号手前に「彩の国ロードサポート」の優しい色合いの看板が設置されました。車が赤信号で停止するとちょうど目に留まる高さで、自分たちが清掃活動をしていることが、広くPRできることに感激いたしました。

活動をしていく中で、道路も少しずつ綺麗になり、雑草やイチョウの根本にあった犬の糞や、信号機周辺のたばこの吸い殻もほとんどなくなりました。



苦勞している点は、参加人数を集めることです。清掃の日時は多くの方が参加できるよう、参加者の多い日を月の役員会で決めております。メンバーの中には責任を感じ、昼間は無理ということで、当日の早朝に活動してくださった方もあり、感謝です。

夏場は雑草の伸びも早く、秋から冬にかけてはイチョウの落葉が凄い量になりますので、月2回の活動が必要となります。

活動をしていると、通りがかりの人たちに「暑い中ご苦勞様」「綺麗になりますね」「ありがとう」などと労いの言葉をかけていただき、励みになるとともに、多くの方々に支えられての活動であることを実感しております。

最近では、秩父市内でもロードサポートのお仲間の看



板を多く目にするようになり嬉しい限りです。

昨年11月には、清掃場所に大型店舗が開店し、多くの人で賑わうようになりました。現在、昼間は車の出入りが多く危険と感じ、朝5:30から暗い中店舗の街灯を頼りに、約1時間清掃活動を行っています。

今後の目標としては、植え込みのスペースにお花を植える心癒される花壇づくりや、清掃活動をしている他の団

体にもお声かけし、仲間づくりができたかと思っています。

ロードサポート活動を通して、我が町、我が地域を「よくしよう」と思う仲間、人と人の心に触れ合い心温まるものを感じました。

私たちがコツコツと継続してきたことを、思いもかけず発表できたことで、改めてロードサポートの活動の意義・素晴らしさを実感しております。

クリーン清流グループ

(平成14年5月認定・日高市)

活動路線：県道川越日高線
発表者：内田博、尾崎雅子

私たちが住んでいる日高市は、美しい自然にあふれた丘陵地で、市の西部を流れる高麗川ではたくさんの野鳥を観察できます。特に、清流の宝石といわれるカワセミがよく見られることから、カワセミは市の鳥となっています。

秋の彼岸の季節になると、巾着田と呼ばれる地域には100万本の曼珠沙華が咲き誇り、まるで真っ赤なじゅうたんを敷きつめたようです。

活動のきっかけは、宅地造成が進みマイホームを購入後、犬を飼う家も多くなりましたが、それに伴って散歩中の犬の糞が増えてきました。

自治会でマナーの向上を呼びかけましたが、なかなか減りません。地域をきれいにしたいとの思いから、声をかけ合って数人で自主的に清掃活動を始めたところ、糞も次第に減っていきました。



この近隣活動を発展させて、環境保護の視点で地域貢献したいとの思いが強くなり、市役所に問い合わせたところ、ロードサポートの活動を紹介されました。清掃活動をしていた地域の有志と協議し、8年前の平成14年5月、「クリーン清流グループ」を立ち上げました。

現在、40代から70代の男女あわせて26名で取り組んでいます。

活動範囲としては、県道川越日高線の日高市総合福祉センター「高麗の郷」信号～栗坪交差点までの区間、約700mです。活動は年間4回、朝8時から9時頃まで行っています。

活動を始めた頃は、雑草も多くゴミ袋で20袋位ありましたが、清掃の効果があり、最近は減少傾向にあります。

活動してよかったこととしては、空き缶のポイ捨てが減った、道路が前よりもきれいになった、皆で取り組むこと



で張り合いを持って取り組める、周辺地域の方から「助かります」などの声をいただいております。

これは、周囲への反響・波及効果として、環境意識の向上に繋がっているものと思います。

また、清掃活動の汗を流した後、地域の方が入れてくれるお茶を皆で飲むときの気分は格別で、しばしの懇談は憩いの場となっております。

平成18年5月には、4年間の活動が評価され、地元日高市から「かわせみ賞」をいただきました。

活動の苦勞については、初期の頃、捨てては困るタイヤ、バッテリー、石油缶などの廃棄物を収集しましたが、最近は減少傾向です。

それから、道端が畑の場合ゴミ捨てが多い、アスファルトの割れ目から出ている雑草が取りにくい、交差点付近にはタバコの吸い殻が多い、台車が使えない場所はゴミを手持ちで運搬するなどです。

今後の目標としては、活動回数が現在は年4回ですが、雑草の多い夏場に増やして年6回程度行いたいと思っています。また、設置場所が確保できれば、花壇を作りたいとも考えています。

ほかに、ゆくゆくは若い世代の方々にも参加してもらい、老いも若きも愛するわが町の為にとの思いで皆で取り組めたらと、夢は膨らんでいます。



4 アダプト・プログラム参加市民団体のアンケート調査について

アダプト・プログラムとは、彩の国ロードサポート制度のように、市民団体・企業などが清掃美化活動を行い、行政がそれを支援するというものです。このたび、社団法人食品容器環境美化協会が実施したアダプト・プログラム活動状況に関する全国調査の結果が公表されたので、参考にその概要をお知らせします。

- 調査目的：アダプト・プログラムのさらなる普及と定着を図るために実施
- 実施時期：2009年9月(2001年、2005年に続き2009年は第3回目の調査)
- 回答：アダプト・プログラム参加団体71自治体、640団体より回答(前回59自治体、567団体)

※社団法人 食品容器環境美化協会(ホームページ：http://www.kankyobika.or.jp/)
 ・飲料容器の散乱防止とまち美化の推進に取り組んでいる公益法人です。アダプト・プログラムの情報センターとして、普及啓発や研究調査活動を行っています。

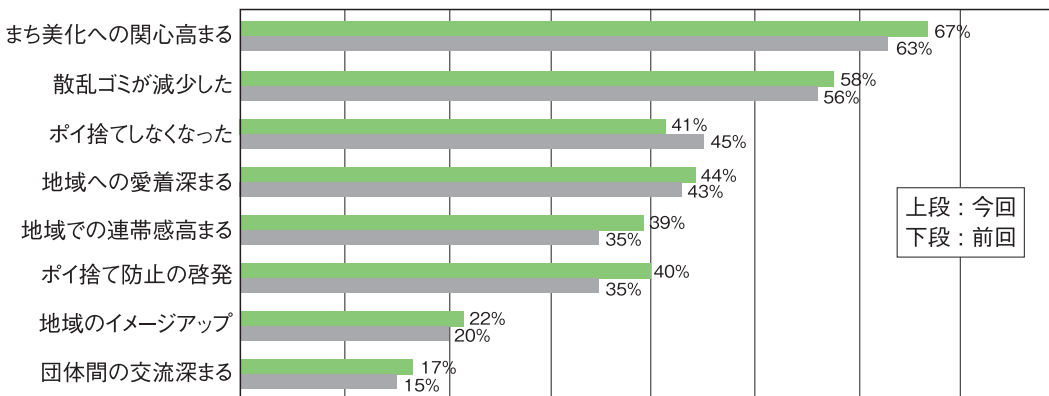
1 アダプト・プログラムに参加したきっかけ

	今回	前回
地域の美化+啓発	34.2%	20.1%
自然環境保護	5.7%	2.4%
地域貢献	22.5%	16.8%
行政との協働+行政の依頼	17.4%	13.6%
従来活動の延長	20.7%	10.7%

前回と比べ地域の美化、地域への貢献意識が一層高まっていることが伺えます。

これが行政からの依頼以上に、自らの意識によるアダプト・プログラムへの参加につながっていると思われます。

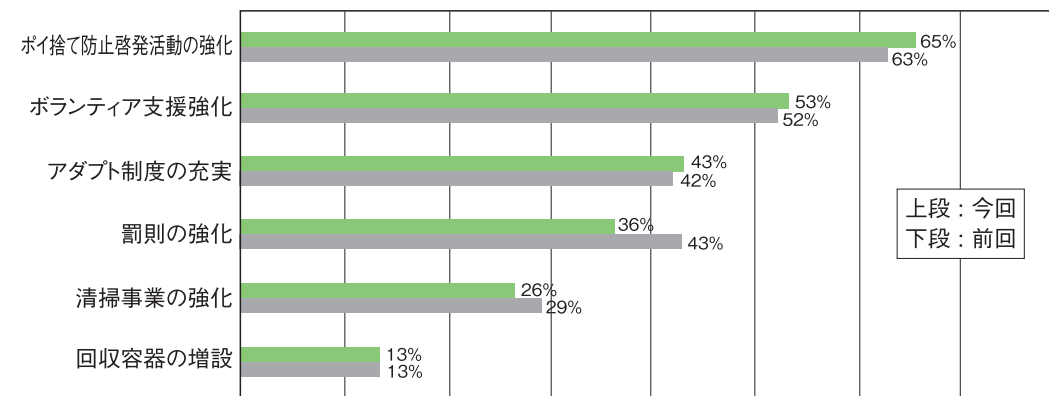
2 アダプト・プログラムの効果



まち美化への関心が高まると、散乱ごみが減少したが、前回に続いて50%を超え上位を占めています。

このほか、地域への愛着が深まる、地域での連帯感が高まる、ポイ捨て防止の啓発など、多面的な意識効果が認められています。

3 今後まち美化を進める上で必要な対策(アダプトに限らずまち美化全体の意見)



啓発強化が第1位で前回と同じ。ボランティア支援強化、アダプト制度の充実も多く、重視の傾向です。

罰則や清掃事業の強化は前回と同じく微減しており、行政との協働によるまち美化への流れが進んでいると思われます。

5 活動団体・花苗の支援者を募集中!

道路は、あまりにも身近な存在のため、わたしたちはその大切さをともしれば忘れがちです。その身近な道路において、ボランティアで清掃や花植え活動をしていただく、彩の国ロードサポート制度!

県では、地域住民や学校・企業などの参加団体を幅広く募集しています。

また、花植えを行う団体に対し、花苗提供や資金援助をしていただく支援者も募集しています。

詳しくは、各県土整備事務所または道路環境課まで、電話でお問い合わせください。